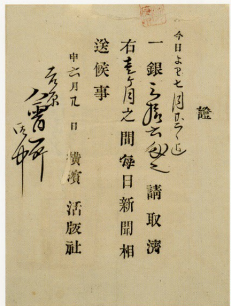


【大きな図版について】
【ORATIO DOMINICA】(主の祈り)
フランス帝立印刷所 1805年 小宮山博史氏所蔵
●ナポレオン戦争の影響で廃止されたフランスの王室御用印刷所。150書種。漢字活字(約16ミリ)は木活字であるが、近代活版印刷術に転換された最初の時期。本書では「主」が彫刻されているが、印刷博物館収蔵本では正立している。(原寸大)

【平成30年度第1回企画展示】

横浜毎日新聞代金領収証
横浜活版社 吉原会所宛 申(明治5)年6月20日
当館所蔵 五枚文
●横浜活版社が「横浜毎日新聞」を定額購読している吉原遊郭の会所に宛てた新聞代金の領収書。漢字の多くは美濃善書館由来。日付欄が四号活字で、ほかは二号活字。右から4行目「石」の「之」はベルリンで母号が作られた美濃善書館に伝わったもの。1行目の「諸」、4行目の「毎」、6行目の「横濱」は、新たに彫られた木活字に見える。



【主催】横浜開港資料館
【共催】横浜市教育委員会
【協力】小宮山博史 / 印刷博物館 / 横浜活字文化研究会 / 横浜セントラルタウンフェスティバル実行委員会
【後援】NPO法人東京タイプディレクターズクラブ / NPO法人日本タイポグラフィ協会 / 朝日新聞横浜総局 / 神奈川新聞社 / 産経新聞社横浜総局 / 東京新聞横浜支局 / 毎日新聞横浜支局 / 読売新聞横浜支局 / tvk
【協賛】SCREEN DymaCommware Corporation ダイナコムウェア株式会社
株式会社SCREENグラフィックソリューションズ

【開館時間】9:30▶17:00 (入館は16:30まで)
●5月26日(土)、6月2日(土)、6月29日(金)、7月14日(土)は展示室のみ19:00まで開館(入館は18:30まで)
【休館日】月曜日(ただし4月30日、7月16日は開館)、5月18日(火)
【入館料】一般=200円 小中学生=100円
●横浜セントラルタウンフェスティバル開催の5月26日(土)・27日(日)、開港(開館)記念日の6月2日(土)は入館無料

金属活字と明治の横浜

小宮山博史コレクションを中心に

19世紀ヨーロッパでの東洋学発展と中国へのキリスト教布教を両輪として金属活字の明朝体が生まれ、その一部が上海の伝道会印刷所に集積されました。

近代の活版印刷術を日本に導入しようとする苦闘する元オランダ語通詞本島昌造は、任期を終えて帰国する伝道会印刷所の前館長ウィリアム・ギャンパンに技術の伝習を懇請します。要請に応じたギャンパンは明治2(1869)年11月長崎に渡り、4ヵ月間にわたって活版印刷術と活字製作の情報を短時間でかつ広範囲に伝えることが可能となり、日本の近代化を支えていきます。

長崎に伝わった活版印刷と金属活字は、明治3年の末には早くも横浜に伝わり、活字による印刷物が作られています。明治後半になると、人口の増加による印刷需要の拡大、印刷機械の改良とあわせて、さまざまな印刷物が刊行され、活版印刷は広く一般に浸透していきました。本展示は活字書体史研究家小宮山博史氏のコレクションを中心に、日本の近代化の原動力となった明朝体活字について、ヨーロッパでの誕生から日本への伝播、そして横浜における普及の歴史を明らかにします。

- ◆展示関連講座【活版印刷と横浜】
- 第1回 5月26日(土)
内田明氏(近代日本語史学研究者)
【活字と活字見本帳が語るもの】
- 第2回 6月9日(土)
宮坂弥次生氏(明治学院大学非常勤講師)
【印刷史のなかの美華書館—日本とのかかわり】
- 第3回 6月23日(土)
小宮山博史氏(活字書体史研究家)
【日本活版印刷史の夜明け—上海へのホエンと吟香】
- 【会場】横浜開港資料館 講堂 【時間】各回とも14:00▶16:00
【受講料】500円/回 【募集人数】80名(応募多数の場合は抽選)
【申込み方法】往復はがきに、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・参加希望講座回(複数記載可)を記入の上、下記の住所にお送り下さい。
はがき1枚につき1名様のみのお申込みです。
231-0021 横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館 活字展講座係
(文面が消えてしまう恐れがありますので、消せるボールペンでの記載をご遠慮ください) 【締切】5月15日(火) 必着

【展示担当者による展示解説】
▶5月12日(土)14:00より / 2▶6月29日(金)18:00より
▶7月8日(日)14:00より
いずれも30分程度 / 事前申込み不要、入館の上、展示会場入口に集合

◆次回展示予告
戊辰の横浜 開港都市の1868年 (仮称)
2018年7月21日(土)▶10月28日(日) (予定)



ORATIO DOMINICA

SINICE.

在天我等父者

我等願爾名見

聖爾國臨格爾